

発表番号 Ⅱ - 8	チーム名	中丹雲原応援隊
	担当者 【所属名】	細井 大 【中丹広域振興局 農林商工部 地域づくり推進室】 衣川 昌宏【中丹広域振興局 農林商工部 中丹西農業改良普及センター】 森 裕史 【中丹広域振興局 建設部 中丹西土木事務所】

タイトル	「地域資源」を活かした地域と行政が一体となった地域振興の取組 ～よみがえれ 地域の力 雲原砂防イベント～
------	---

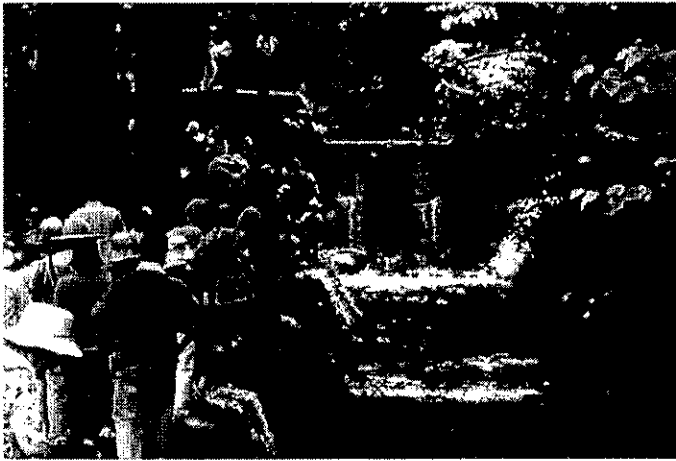
アピール ポイント	中丹広域振興局の三公所が組織横断的に連携・役割分担し、地域の諸課題に応じた取組みを支援。
--------------	--

背景	福知山市の最北部に位置する雲原地域は、中山間地域の農山村として、都市部への人口流出による少子高齢化や後継者不足による耕作放棄地の増加など、過疎地域共通の課題を抱えている。昭和初期に村づくりと一体的に整備が進められてきた「雲原砂防関連施設群」が、平成 18 年に国の登録記念物（遺跡）第 1 号の指定を受けたことを契機に、自治会や青年組織など地域の団体が中心となって組織する「雲原砂防イベント実行委員会」が発足し、雲原砂防を地域の誇れる資源と捉え、地域振興に活かそうという活動がスタートした。
----	---

改善 内容	「雲原砂防イベント実行委員会」には、福知山市と京都府中丹広域振興局（地域づくり推進室、中丹西農業改良普及センター、中丹西土木事務所）の行政組織がアドバイザーとして参画し、地域の諸課題に応じて、組織横断的にそれぞれの担当部局が助言等をしている。主な取組内容は以下のとおり。 ・イベントによる交流人口拡大 → 「歩こう会」、「ドラム缶転がしタイムレース」 ・地域力再生プロジェクト交付金による交流施設の整備 → 「みんなの水車」、「みんなの和楽家(わがや)」 ・交流施設による農産物販売 → 販売所開店の支援、農産物の栽培講習会開催
----------	--

成果	雲原砂防イベント実行委員会の発足以降、地道に継続してきた活動は 6 年近く経過し、この間イベントやブログ等を通じた情報発信により、「雲原砂防」の認知度が高まってきた。近年は砂防施設の役割について学校関係（特に小学校）から出前語らいが増加するとともに、毎年 3 月には京都府立大学の演習フィールドとして利活用されるなど交流人口の増加にもつながっている。 さらに、地域の真剣に取り組む姿が若い世代にも伝わり、最近では若者が中心となって Facebook などによる地域情報の発信を行ったり、雲原地域の活動体験ツアーを企画し東京や大阪からの参加者があるなど、地域の自主的な活動が幅広く世代を超えて着実に浸透しつつある。また、イベントを通じて地域に関心をもった若い女性が、平成 24 年 11 月に移住している。
----	---

今後の 展開	今後とも継続して地域と同じ目線に立ち、パートナーとして地域活動に取り組むとともに、農村定住者獲得に向けて福知山市とも連携し取り組んでいく必要がある。
-----------	--



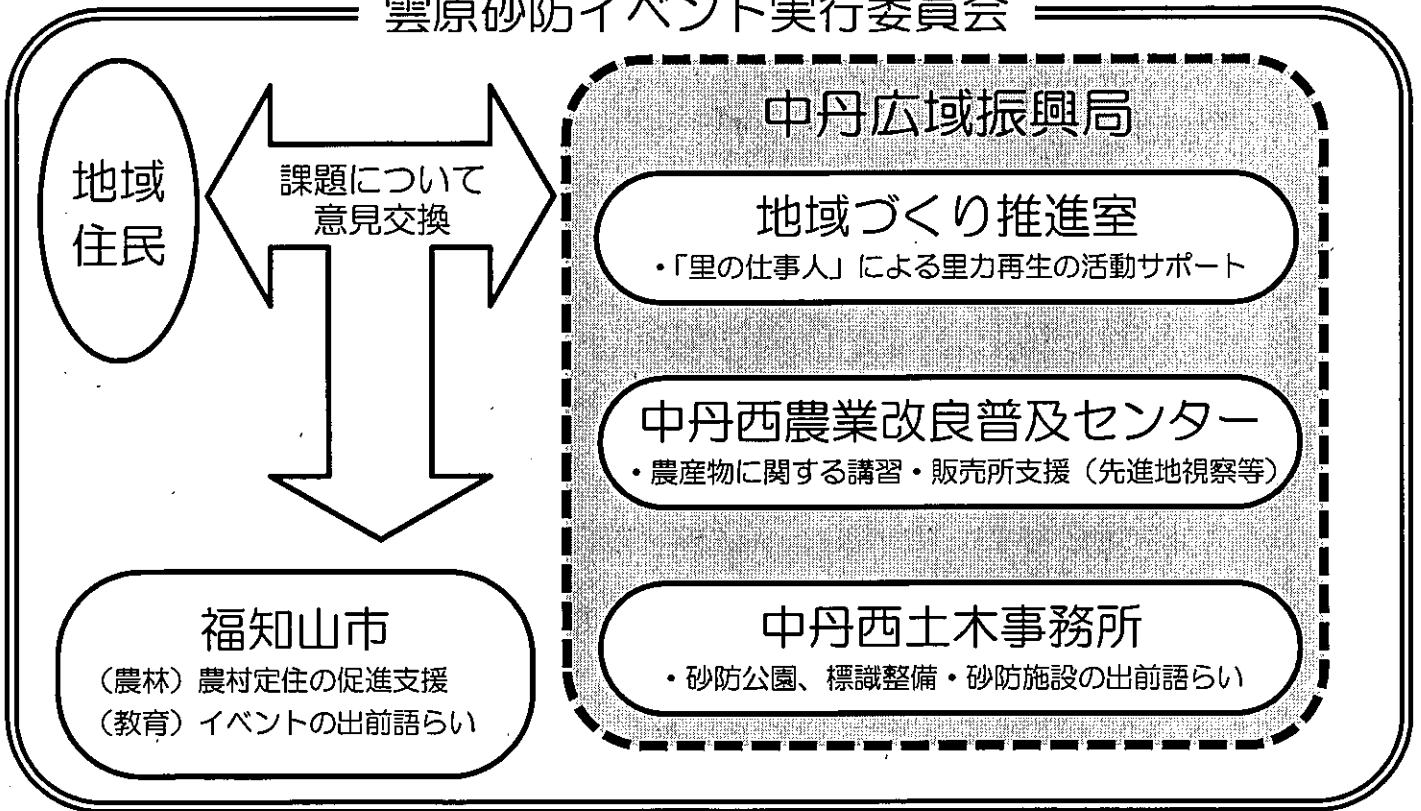
地域の語り部や土木事務所職員が案内する  
歩こう会「探訪 雲原砂防」



毎年 500 人以上の参加のある  
ドラム缶転がしタイムレース

### 雲原地域における地域活性化への取組

#### 雲原砂防イベント実行委員会



#### 地域力再生プロジェクト交付金を活用して整備



手作りで整備された「みんなの和楽家（わがや）」（農家レストラン）



「みんなで作ったみんなの水車」